

金属加工 内海機械

新工場落成式

再生可能エネルギー関連部品の生産拠点

(株)内海機械（府中市鵜飼町743-1、内海和浩社長）は、新工場落成式を7月25日に行い、約40人が出席した。敷地面積1076・56㎡に建設した建築面積417・66㎡の工場は、水力発電をはじめとする再生可能エネルギー関連部品の新たな生産拠点として位置付ける。

新工場では、長さ2mまでの金属部品加工が可能な最新機械を導入し、ねじ

穴開けや厚みの調整などにも対応。ぶつちぎりの超短納期で単品製作にも応じる。受注から2週間以内の納品が一般的で、少数受注では即日対応も可能。従業員駐車場の敷地を活用して建設し、総工費は約3億円。

加工からアフターサービスまで一貫体制を構築。DX化やITの一体化、3次元測定機による品質管理を進め、スマートファクトリー化を推進している。内海

社長は「生産性アップ、見える化、無駄時間を省く、ぶつちぎりの超短納期を追求し、常に最新設備を導入している。多能工の国家技能士1級3人を育成しており、今後も品質向上と生産体制の強化に努めたい」と話す。

落成式には、府中市の小野申人市長や府中商工会議所の北川祐治会頭をはじめ関係諸団体や取引先が出席し、地域産業の活性化を祝った。



マシンニング ヤマザキマサック VTC-530/20
加工範囲：φ50×530×510